



# 商工会議所 LOBO (早期景気観測)

2024年2月調査結果

2024

2

## 事業継続計画（BCP）の策定状況

### BCPを策定済み・策定中の企業は微増にとどまる 依然としてノウハウ・人手不足がBCP策定の障壁

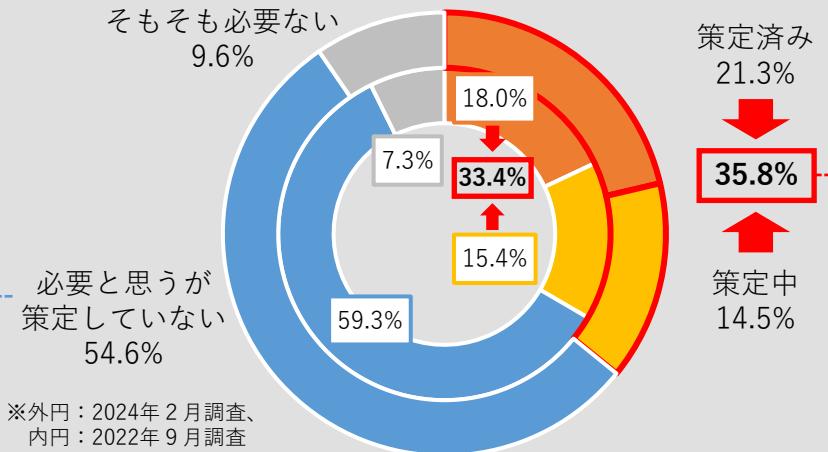
- 事業継続計画（BCP）について、「策定済み」は21.3%となった。「策定中」を合わせても35.8%と、2022年9月調査と比較しても2.4ポイントの増加にとどまり、BCPの策定状況は足踏み状態にある。一方、「必要と思うが策定していない」は54.6%と、いまだ半数を超える。
- 策定済み・策定中のBCPにおいて想定するリスクとして、「地震」が90.8%、次いで「風水害」が70.8%と、近年自然災害が頻発していることもあり、高い水準となった。また、「感染症」をリスクとして想定する企業は49.1%と、半数弱という結果になった。
- BCPを策定していない理由としては、「必要なノウハウ・スキルがないため」や「人的余裕がないため」が4割超と、2022年9月調査から依然として高い水準となっている。BCP策定率を向上させるためには、中小企業が上記の障壁を乗り越えられるような支援が求められる。



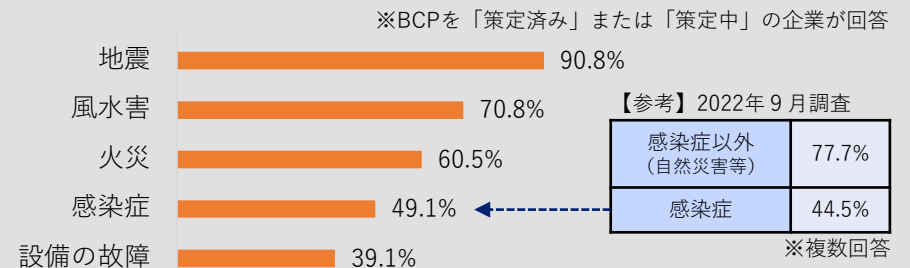
中小企業の声

- BCPは必要であると考えているが、策定のための人的・時間的余裕がなく、策定には至っていない。（八王子 大工工事業）
- 先月の能登半島地震をきっかけに、BCP策定の必要性を感じている。（名古屋 書籍・文房具小売業）
- 東日本大震災を受けてBCPを策定したが、策定以来アップデートを行っておらず、内容の見直しが必要であると考えている。（宮崎 一般工事業）

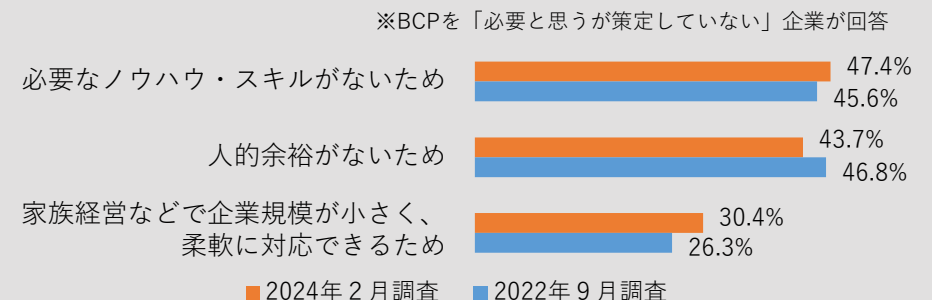
### 事業継続計画（BCP）の策定状況



### 策定済み・策定中のBCPで想定するリスク（複数回答/上位5項目）



### BCPを策定していない理由（複数回答/上位3項目）



## デジタルプラットフォーム事業者との取引における課題

### 取引がある企業の4社に1社が課題があると回答 課題の内容としては高額な利用料金・手数料が最多

- デジタルプラットフォーム事業者（情報通信技術やデータを活用して第三者にオンラインのサービスの基盤を提供する事業者）と「取引がある」と回答した企業は34.4%。このうち、取引において「課題がある」と回答した企業は26.6%と、取引がある企業のおよそ4社に1社が課題を感じているという結果になった。
- 課題の内容としては、「高額な利用料金や手数料」が59.7%と最多となった。次いで、「他社サービスへの切替えが困難」や「取引条件の一方的な変更」が3割程度と続いた。そのほか少数ながらも、「取引条件の協議に応じてもらえない」や「取引条件の明示が不十分」といった回答が見られた。



#### 中小企業の声

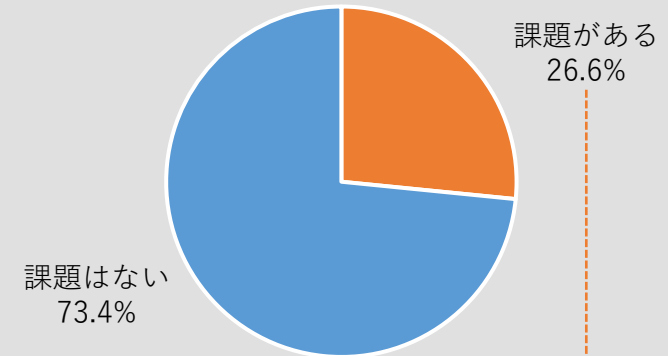
- 予約サービスや客室のクラウド管理サービスを利用しているが、手数料が大きな負担となっている。（本渡 宿泊業）
- 他社サービスへの切替えが困難であるため、利用料金の引き上げを要求されても、受け入れざるを得ない。（名古屋 自動車・付属品製造業）
- サービスについて改善してほしいという要望を出しても、対応してもらえない。（三島 土木工事業）
- 他社サービスと比較して、現在利用しているサービスの利用料金や取引条件が適正かわからない。（奥州 ガラス工事業）

#### デジタルプラットフォーム事業者との取引の有無



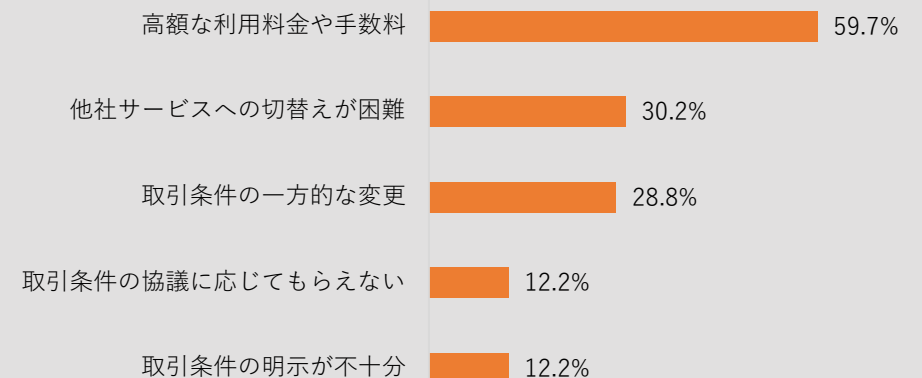
#### 取引における課題の有無

※デジタルプラットフォーム事業者と「取引がある」企業が回答



#### 課題の内容（複数回答／上位5項目）

※デジタルプラットフォーム事業者との取引において「課題がある」とした企業が回答



## 2024年2月の動向

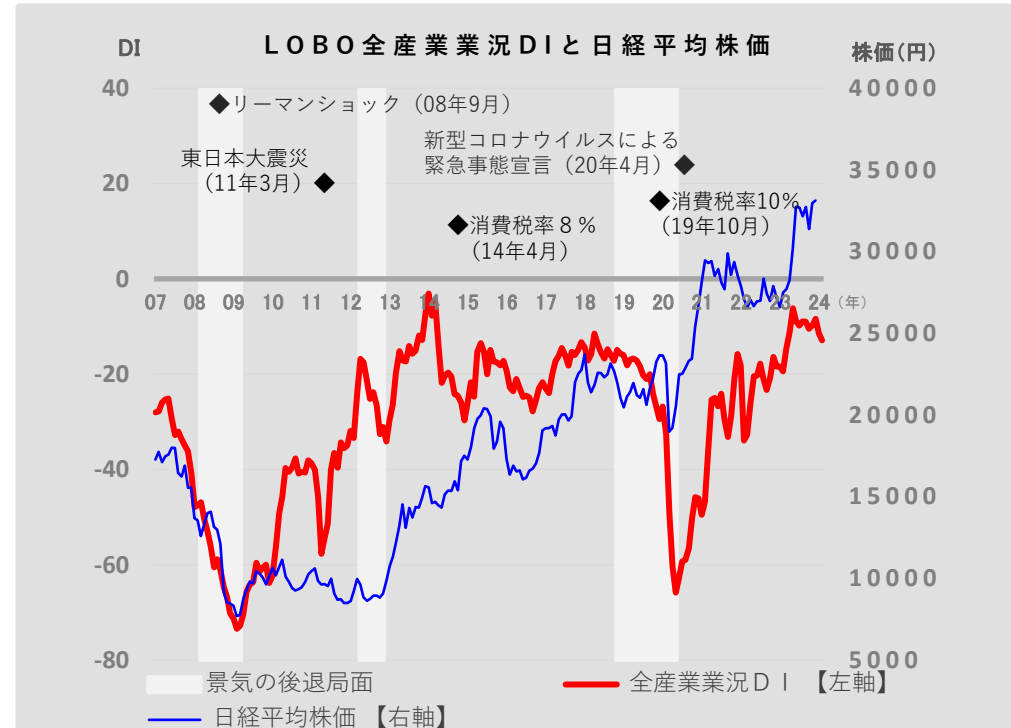
**業況DIは、コスト増による需要停滞で、悪化続く  
先行きは、人手不足と物価高の長期化で慎重な見方**

● **全産業合計の業況DIは、▲12.9（前月比▲1.5ポイント）**

- 小売業は、消費者の買い控えは継続するものの、好調な百貨店がけん引し、改善した。サービス業は、飲食・宿泊業を中心にインバウンド回復の恩恵を受けるも、人手不足やコスト増が下押しし、ほぼ横ばいとなった。建設業は、公共工事が下支えするも、資材価格の高止まり等で力強さを欠いた。また、製造業は、企業のコスト負担増による設備投資の足踏みを受け、機械器具関係等の需要減で悪化し、卸売業でも、これらの需要減による取引減少で悪化した。
- 物価が高止まりする中、円安や人材確保に向けた賃上げ等、コスト増が重荷となっている。深刻な人手不足や価格転嫁等の構造的な課題も山積しており、中小企業の業況は悪化が続いた。

● **先行き見通しDIは、▲13.6（今月比▲0.7ポイント）**

- 新年度を見据えた人流の増加による個人消費の拡大や、企業の新たな設備投資等の取組みへの期待感がうかがえる。
- 一方、深刻な人手不足による受注機会の損失や、長引く物価高による買い控えの継続など、国内需要の停滞が懸念される。コスト増が継続する中、持続的な賃上げに向けた労務費を含む価格転嫁の推進や生産性向上、人材確保などの対応すべき課題が多く、先行きは慎重な見方となっている。



業況DI（※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合）

	2023年	2023年					2024年	先行き見通し 3~5月
	2月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
全産業	▲19.4	▲9.0	▲10.5	▲9.7	▲8.4	▲11.4	▲12.9	▲13.6
建設	▲31.9	▲16.5	▲14.3	▲11.7	▲11.0	▲12.3	▲13.0	▲13.7
製造	▲18.4	▲8.5	▲9.3	▲10.2	▲8.1	▲13.4	▲17.0	▲15.8
卸売	▲16.4	▲19.7	▲20.6	▲12.0	▲6.9	▲10.4	▲19.2	▲23.3
小売	▲25.9	▲9.2	▲16.0	▲18.7	▲20.8	▲16.2	▲14.4	▲16.0
サービス	▲8.6	0.2	0.0	0.2	2.4	▲5.2	▲4.4	▲4.8

業種別の動向

前月と比べたDI値の動き



**住宅関係の民間工事の不振や建築資材価格の高止まりによるコスト増は継続しているものの、底堅く推移する公共工事が下支えし、ほぼ横ばい。**

- 「技術者などの専門人材の不足が続いている中で、4月から施行される働き方改革関連法にどのように対応していくかが大きな課題である。社員教育による底上げを行うとともに、生産性向上に向けたデジタル導入などを検討する」(一般工事業)
- 「大型案件の受注ができたが、資材価格の高騰で先出しする資金が増えており、資金繰りの見直しが必要である」(大工工事業)



**円安による輸入部材価格の高騰や電気代の高止まりが続く中、企業のコスト増による設備投資の足踏みで一般機械器具や精密機械器具等の受注が減少する他、建築資材関係の需要低迷が続く、悪化。**

- 「コスト増の影響で市場の動きが鈍い中、取引先が年度末の在庫調整に入り、受注数が大幅に減少している。コロナ禍からの挽回生産で生産量を増加させていたが、想定よりも売れ行きが良くなく、在庫過剰な状態である」(金属加工機械器具製造業)
- 「売上が伸び悩む中、労務費や仕入価格が上昇しており、価格転嫁も十分に追いつかず、経営に重くのしかかっている」(建築用金属製造業)



**輸送費や包装資材価格が高止まりする中、住宅関係の不振で引き合いが弱い建築資材関係や、企業の設備投資の停滞に伴う一般機械器具等の企業間取引の減少で、悪化。**

- 「価格転嫁は順次対応が行えているが、取引そのものが減少しており、業績は悪化している。加えて、人手不足も深刻で、事業継続に向けて社内の若返りを図りたいところだが、原資が確保できない中で賃上げや福利厚生の実施は難しいため、採用が進まない」(一般機械器具卸売業)
- 「住宅需要の低下により、引き合いが減少している。仕入単価も高止まりをしており、利益の確保が難しい」(建築材料卸売業)



**インバウンド需要の回復や暖冬による人流の増加で、売上が引き続き好調な百貨店がけん引し、改善。一方、物価の高止まりで生活必需品以外の買い控えは継続しており、専門店などでは売上が伸び悩む二極化の状態が続いている。**

- 「外国人観光客による消費は拡大しており、売上は好調が続いている。国内需要は足元では力強さを欠いているものの、来年度の賃上げの状況によって消費拡大が喚起されることで、好循環が生まれることを期待したい」(百貨店)
- 「物価高で消費者に購買意欲が無い中、電気代等のコスト増が重荷である。今後、輸送費も上昇するため、一層苦しい状況が見込まれる」(酒類小売業)



**国内観光需要やインバウンド回復の恩恵を受けた飲食・宿泊業を中心に回復基調にあるものの、電気代や人件費の高騰、深刻な人手不足による需要増への対応が追いつかず、ほぼ横ばいとどまる。**

- 「売上は順調に回復傾向にあり、年度末の歓送迎会の予約も順次入っている。一方で、電気代の高止まりは依然として重荷となっている。また、人手不足は深刻な状況が続いており、需要増への対応が追いつかない状態が続いている」(飲食店)
- 「荷動きが悪い中、4月の働き方改革関連法が施行予定であり、物流が増加したときに対応できるか不安である」(運送業)

## ブロック別の動向

前月と比べたDI値の動き



改善



ほぼ横ばい



悪化



北海道

**北海道は、改善。**建設業では、北海道新幹線の札幌延伸工事をはじめとする公共工事や、半導体メーカー・ラピダスの新工場の建設工事が順調に進んでおり、売上・採算が改善した。小売業では、引き続きインバウンドや国内観光客が回復傾向にあり、百貨店を中心に売上・採算が改善した。札幌市で「さっぽろ雪まつり」がコロナ禍を経て4年ぶりに全面開催されるなど、地域の活性化がうかがえる。



東北

**東北は、ほぼ横ばい。**小売業では、暖冬により日常生活への雪の影響が少なく、専門小売店や商店街などの地元住民向けの店舗を中心に売上・採算が改善した。一方で、人件費などのコスト増により収益が圧迫されているため、経費削減を課題に挙げる声も聞かれた。建設業では、資材価格の高止まりによる民間の住宅工事の受注減少に加え、雪不足に伴う除雪作業などの受注も減少し、採算が悪化した。



北陸信越

**北陸信越は、悪化。**サービス業では、能登半島地震の影響により、観光客の減少および地元住民の外出控えが継続しており、飲食店をはじめとする幅広い事業者において、売上・採算が悪化した。製造業では、地震の発生に伴う需要減により、飲食料品関係を中心に売上が悪化した。今後は観光支援策「北陸応援割」の実施が予定されており、観光業の回復および地域経済への好影響の波及を期待する声も聞かれた。



関東

**関東は、悪化。**製造業では、企業のコスト増による設備投資の足踏みの影響を受け、一般機械器具や輸送用機械関係などで売上・採算が悪化した。中国経済の停滞に伴う売上の減少を補填するため、薄利でも販売数を増やす事業者が見受けられ、価格競争の波にのまれて厳しい、という声も聞かれた。卸売業では、製造業からの引き合い減少により、機械器具関係を中心に売上・採算が悪化した。



東海

**東海は、悪化。**サービス業では、物価の高止まりにより消費者の節約志向も継続しており、飲食店や生活関連サービスを中心に売上・採算が悪化した。運送業の事業者からは、大手自動車メーカーの工場稼働停止の影響で受注が減少している、という厳しい声も聞かれた。卸売業でも、サービス業からの引き合い減少や、人件費や運搬コストの増加により、売上・採算が悪化した。



関西

**関西は、ほぼ横ばい。**小売業では、インバウンド・国内観光需要が堅調に推移し、専門小売店や百貨店を中心に、業況が改善した。福井県の事業者からは、来月の北陸新幹線の開業に向けて人流が増加しており、活性化の兆しがみられる、という明るい声も聞かれた。一方、卸売業では、暖冬に伴う繊維・衣服関係の受注減少に加えて、賃上げやエネルギー価格の高止まりなどの影響を受け、採算が悪化した。

## ブロック別の動向

前月と比べたDI値の動き



改善



ほぼ横ばい



悪化



中国

**中国は、悪化。**建設業では、持家のニーズが低迷している影響で、住宅などの民間工事の受注が減少し、採算が悪化した。4月に迫る働き方改革関連法の施行に向けた対応に苦慮している、という声も聞かれた。卸売業でも、建設業からの引き合い減少を受け、建築金属材料関係を中心に売上が悪化した。人材確保に向けて募集を行っているものの、応募が少なく厳しい状況である、という声も聞かれた。



四国

**四国は、悪化。**建設業では、資材価格の高止まりに伴い、民間の住宅工事の受注が減少傾向にあり、売上・採算が悪化した。従業員の高齢化が進んでいるものの、収益圧迫により人件費の確保が難しく、新たに若手の正社員を雇用するのは厳しい、という声も聞かれた。卸売業では、建設業の需要低迷のほか、飲食料品関係の製造業からの受注減少が影響し、売上・採算が悪化した。



九州

**九州は、改善。**製造業では、公共工事が好調である建設業からの需要が増加し、鉄鋼関係を中心に売上・採算が改善した。熊本県におけるTSMCの第二工場の新設が正式に発表されており、今後も建築関係の需要の高まりが期待される。サービス業では、インバウンド・国内観光需要が堅調に推移し、宿泊業や飲食店を中心に採算が改善した。

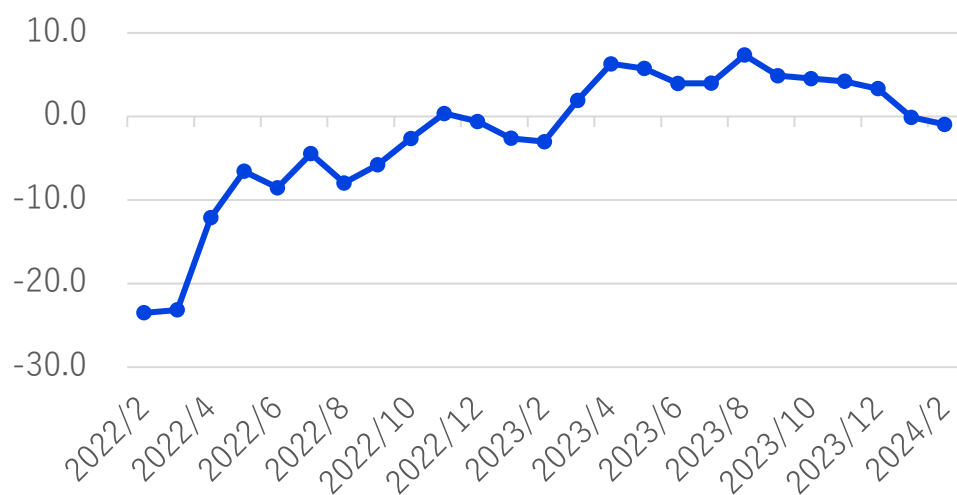
	2023年	2023年	10月	11月	12月	2024年	2月	先行き
	2月	9月				1月		見通し
全国	▲19.4	▲9.0	▲10.5	▲9.7	▲8.4	▲11.4	▲12.9	▲13.6
北海道	▲14.7	▲4.9	▲5.4	▲12.0	▲1.6	▲10.1	▲7.0	▲8.6
東北	▲28.6	▲13.0	▲12.6	▲12.7	▲14.0	▲18.0	▲18.2	▲18.7
北陸信越	▲17.9	▲10.0	▲15.2	▲13.5	▲9.3	▲23.6	▲31.4	▲29.4
関東	▲18.0	▲8.3	▲9.0	▲9.3	▲5.9	▲7.4	▲9.8	▲7.4
東海	▲27.5	▲2.9	▲8.9	▲3.7	▲3.7	▲6.4	▲9.6	▲17.0
関西	▲14.2	▲16.5	▲16.9	▲14.0	▲15.8	▲13.7	▲14.4	▲10.8
中国	▲16.0	▲11.0	▲14.4	▲9.5	▲14.7	▲12.7	▲13.9	▲18.0
四国	▲23.8	▲10.3	▲14.9	▲12.7	▲13.8	▲13.3	▲14.4	▲20.0
九州	▲10.7	▲8.9	▲3.3	▲4.4	▲5.4	▲8.2	▲5.8	▲5.2

## 参考：DI時系列表

### 売上DI

(※DI=「増加」の回答割合-「減少」の回答割合)

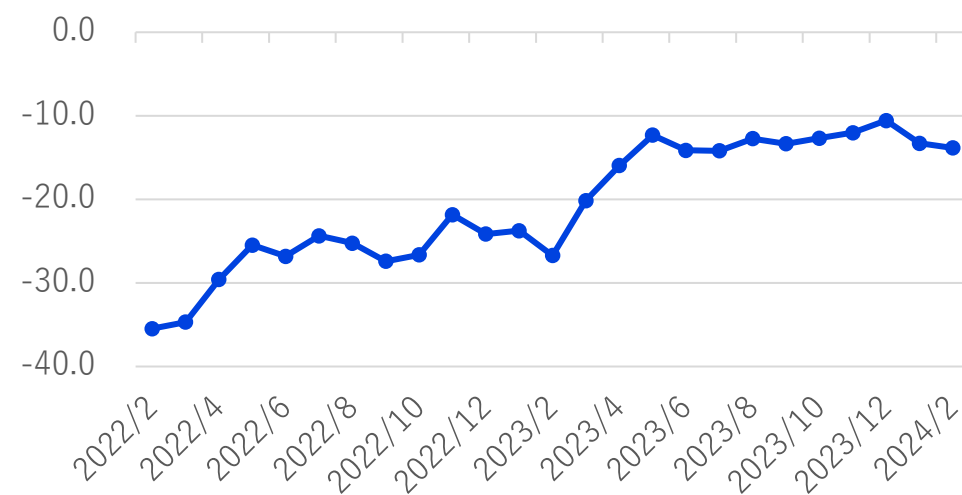
	2023年					2024年		先行き見通し
	2月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
全産業	▲ 3.0	4.9	4.5	4.2	3.3	▲ 0.1	▲ 0.9	▲ 2.4
建設	▲ 22.4	▲ 5.7	▲ 6.7	▲ 2.9	▲ 3.8	▲ 6.1	▲ 3.3	▲ 7.5
製造	▲ 1.6	5.7	7.1	5.8	3.4	▲ 1.8	▲ 5.1	▲ 2.8
卸売	2.2	▲ 2.6	▲ 5.9	6.5	5.5	1.4	▲ 4.6	▲ 6.8
小売	▲ 8.6	1.7	1.0	▲ 4.2	▲ 6.1	▲ 7.0	▲ 3.1	▲ 4.4
サービス	10.0	16.6	16.8	12.9	14.3	10.3	8.3	4.8



### 採算DI

(※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合)

	2023年					2024年		先行き見通し
	2月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
全産業	▲ 26.7	▲ 13.3	▲ 12.7	▲ 12.0	▲ 10.6	▲ 13.3	▲ 13.8	▲ 13.4
建設	▲ 37.2	▲ 24.1	▲ 19.7	▲ 14.9	▲ 16.6	▲ 18.8	▲ 20.2	▲ 16.6
製造	▲ 29.5	▲ 12.5	▲ 9.3	▲ 11.2	▲ 10.3	▲ 13.8	▲ 15.2	▲ 13.5
卸売	▲ 20.4	▲ 15.9	▲ 12.6	▲ 13.4	▲ 5.0	▲ 14.5	▲ 15.5	▲ 20.1
小売	▲ 28.4	▲ 15.7	▲ 14.8	▲ 18.7	▲ 16.1	▲ 14.7	▲ 15.2	▲ 17.0
サービス	▲ 18.7	▲ 4.4	▲ 10.0	▲ 5.1	▲ 4.9	▲ 7.6	▲ 6.4	▲ 5.4

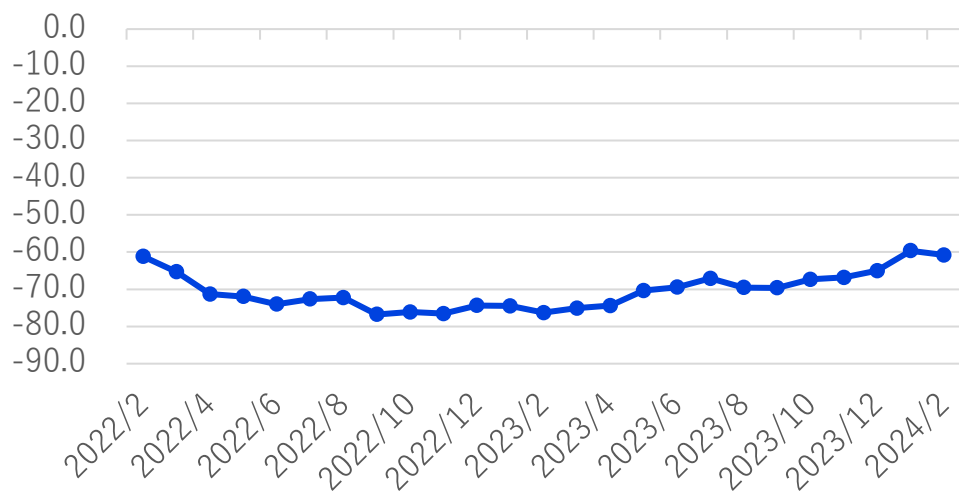




## 参考：DI時系列表

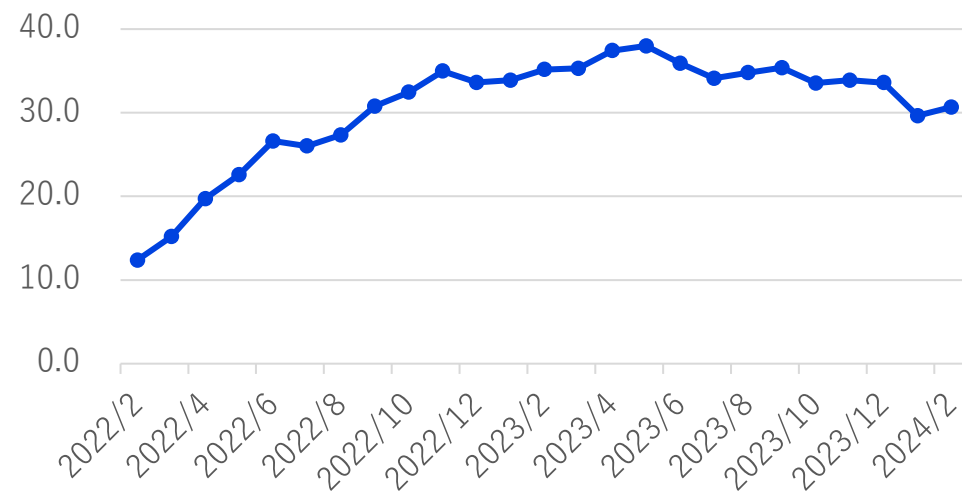
### 仕入単価DI (※DI=「下落」の回答割合-「上昇」の回答割合)

	2023年	2023年				2024年		先行き見通し
	2月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3～5月
全産業	▲ 76.3	▲ 69.6	▲ 67.4	▲ 66.8	▲ 65.0	▲ 59.6	▲ 60.8	▲ 49.3
建設	▲ 81.4	▲ 73.3	▲ 72.9	▲ 72.8	▲ 71.2	▲ 68.0	▲ 70.0	▲ 60.6
製造	▲ 82.0	▲ 66.3	▲ 64.1	▲ 64.5	▲ 59.8	▲ 49.9	▲ 52.3	▲ 37.8
卸売	▲ 73.0	▲ 68.2	▲ 64.7	▲ 63.1	▲ 60.1	▲ 56.1	▲ 59.8	▲ 49.3
小売	▲ 75.6	▲ 73.9	▲ 70.7	▲ 72.2	▲ 71.4	▲ 64.9	▲ 67.0	▲ 58.2
サービス	▲ 69.5	▲ 67.9	▲ 65.7	▲ 62.6	▲ 63.3	▲ 61.4	▲ 59.3	▲ 46.9



### 販売単価DI (※DI=「上昇」の回答割合-「下落」の回答割合)

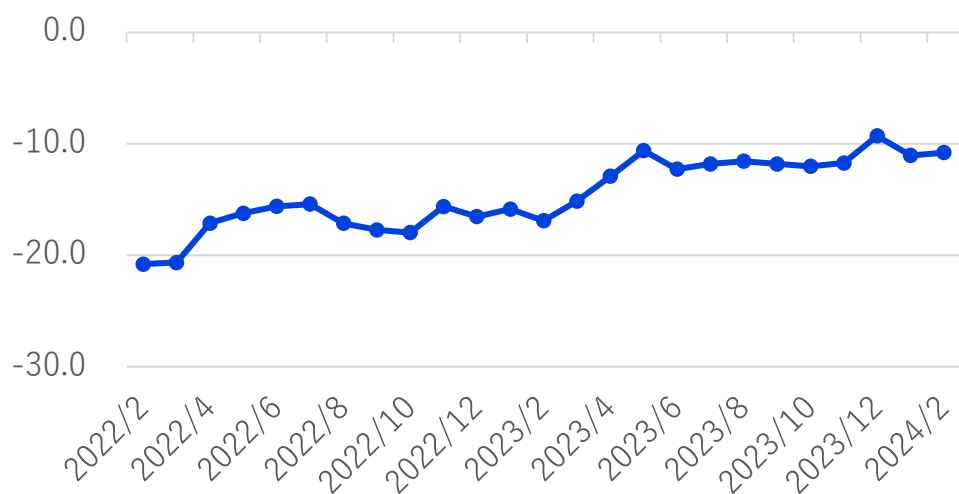
	2023年	2023年				2024年		先行き見通し
	2月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3～5月
全産業	35.2	35.4	33.6	33.9	33.6	29.6	30.7	21.7
建設	26.8	25.4	28.3	29.1	28.5	25.6	25.1	19.5
製造	38.3	37.6	31.8	32.1	34.9	25.9	27.9	15.2
卸売	52.2	45.9	44.5	41.5	39.9	34.4	34.2	22.4
小売	48.4	48.8	45.3	46.4	42.8	42.5	46.4	38.9
サービス	18.9	24.0	23.8	25.1	25.5	23.3	22.8	15.6



## 参考：DI時系列表

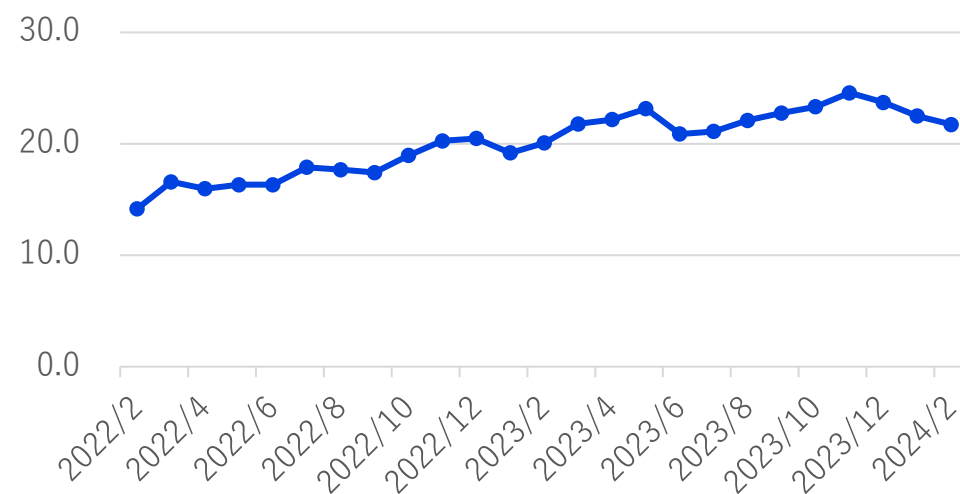
### 資金繰りDI (※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合)

	2023年	2023年				2024年		先行き見通し
	2月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3～5月
全産業	▲ 16.9	▲ 11.8	▲ 12.0	▲ 11.7	▲ 9.3	▲ 11.0	▲ 10.8	▲ 10.7
建設	▲ 11.4	▲ 8.6	▲ 6.4	▲ 6.1	▲ 3.8	▲ 7.1	▲ 6.5	▲ 5.9
製造	▲ 18.4	▲ 13.3	▲ 11.8	▲ 13.4	▲ 9.9	▲ 10.0	▲ 14.5	▲ 11.7
卸売	▲ 6.6	▲ 8.6	▲ 7.6	▲ 9.2	▲ 6.4	▲ 7.2	▲ 10.0	▲ 13.7
小売	▲ 24.0	▲ 16.7	▲ 20.7	▲ 17.9	▲ 17.8	▲ 16.9	▲ 13.7	▲ 14.7
サービス	▲ 17.9	▲ 9.9	▲ 10.8	▲ 9.5	▲ 6.5	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 8.1



### 従業員DI (※DI=「不足」の回答割合-「過剰」の回答割合)

	2023年	2023年				2024年		先行き見通し
	2月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3～5月
全産業	20.1	22.8	23.3	24.6	23.7	22.5	21.7	22.0
建設	33.8	34.0	35.4	37.5	38.2	33.3	35.8	35.8
製造	13.6	13.5	13.2	15.8	14.3	14.5	11.1	11.7
卸売	15.5	16.3	16.4	19.4	17.4	17.6	13.2	15.1
小売	15.1	19.2	20.9	20.6	20.3	20.9	20.4	20.6
サービス	24.1	30.7	31.3	30.9	29.4	27.2	28.8	28.2



## 調査要領

### LOBOとは

「CCI (CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY) – QUICK SURVEY SYSTEM OF **LOCAL BUSINESS OUTLOOK**」  
(商工会議所早期景気観測) からとった略称

### 目的

商工会議所のネットワークのもと、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景気感」を全国ベースで毎月調査するとともに、月毎にテーマを設定して調査(例:設備投資や採用・賃金の動向等)を実施・公表することにより、企業を取り巻く経営環境や直面する課題等の現状を示すデータとして、経済対策に関する政策提言・要望活動などに活用することを目的に1989年4月より調査開始。

### 調査方法

調査協力商工会議所職員(含む経営指導員)による調査票配布・回収

### 調査項目

業況・売上・採算・資金繰り・仕入単価・販売単価・従業員の前年同月比(前年同月と比較した今月の水準)と向こう3カ月の先行き見通し(今月水準と比較した向こう3カ月(当月を除く)の先行き見通し)、自社が直面している経営上の問題など

### ※DI値(景況判断指数)について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

### 調査対象数

配布先: 全国326商工会議所の会員 2,456企業  
(有効回答数1,901企業[回答率77.4%])  
(内訳)

建設業: 402 (有効回答数307企業[回答率76.4%])

製造業: 616 (有効回答数505企業[回答率82.0%])

卸売業: 283 (有効回答数219企業[回答率77.4%])

小売業: 495 (有効回答数388企業[回答率78.4%])

サービス業: 660 (有効回答数482企業[回答率73.0%])

### 調査期間

2024年2月13日～19日

### 公表日

2024年2月29日

## 今月の調査協力商工会議所一覧

### 中国ブロック

鳥取 米子 倉吉 境港 大田  
江津 倉敷 玉野 井原 備前  
新見 呉 福山 三原 府中 大竹  
因島 東広島 廿日市 下関 宇部  
徳山 岩国 新南陽

### 北陸信越ブロック

新潟 上越 長岡 三条 糸魚川  
村上 十日町 新井 加茂 五泉  
富山 高岡 魚津 滑川 金沢  
小松 白山 上田 岡谷 諏訪  
下諏訪 伊那 塩尻 信州中野  
大町 茅野 飯山

### 北海道ブロック

函館 札幌 旭川 室蘭 帯広 北見 岩見沢 根室 士別  
名寄 遠軽 芦別 夕張 赤平 苫小牧 余市 登別

### 東北ブロック

青森 八戸 十和田 むつ 盛岡 釜石 一関 宮古  
花巻 奥州 北上 大船渡 久慈 仙台 石巻 気仙沼  
古川 秋田 能代 大館 湯沢 山形 酒田 鶴岡  
米沢 新庄 長井 天童 福島 郡山 会津若松 白河  
原町 会津喜多方 相馬 須賀川 二本松

### 九州ブロック

福岡 北九州 直方 八女 大川  
筑後 朝倉 中間 佐賀 唐津  
伊万里 鳥栖 佐世保 諫早 熊本  
八代 荒尾 水俣 本渡 別府  
大分 日田 臼杵 津久見 都城  
宮崎 延岡 小林 鹿児島 川内  
鹿屋 那覇 沖縄

### 関東ブロック

水戸 土浦 古河 日立 石岡 下館 ひたちなか  
栃木 宇都宮 足利 鹿沼 小山 日光 大田原 真岡  
高崎 前橋 桐生 伊勢崎 沼田 富岡 渋川 川越  
川口 熊谷 さいたま 本庄 深谷 蕨 草加 越谷  
銚子 千葉 船橋 市川 松戸 茂原 東金 柏  
習志野 成田 八千代 東京 八王子 武蔵野 青梅  
立川 むさし 府中 町田 多摩 横浜 横須賀 川崎  
小田原箱根 平塚 藤沢 茅ヶ崎 鎌倉 三浦 相模原  
大和 海老名 甲府 静岡 浜松 沼津 三島 富士  
磐田 島田 焼津 掛川 藤枝 袋井

### 四国ブロック

徳島 小松島 高松 丸亀 坂出  
観音寺 多度津 松山 宇和島  
今治 八幡浜 新居浜 四国中央  
西条 伊予 大洲 高知 土佐清水

### 関西ブロック

福井 鯖江 大津 近江八幡 八日市 草津 京都  
大阪 堺 東大阪 岸和田 貝塚 八尾 豊中  
池田 泉佐野 高石 神戸 尼崎 明石 西宮  
伊丹 相生 赤穂 三木 洲本 豊岡 高砂 龍野  
加古川 小野 奈良 大和高田 橿原 和歌山  
海南 田辺 御坊 紀州有田

### 東海ブロック

岐阜 大垣 多治見 中津川 土岐 恵那 各務原  
美濃加茂 名古屋 岡崎 豊橋 半田 一宮 瀬戸  
豊川 刈谷 豊田 碧南 津島 春日井 稲沢 江南  
小牧 犬山 大府 四日市 津 伊勢 松阪 桑名  
上野 熊野